

関キ災セミナー 2023年11月13日(月) 「災害時における教会間ネットワークの大切さ」  
一般社団法人 クラッシュジャパン 代表理事 永井敏夫

\*クラッシュジャパンとは? CRASH クリスチャン・リリーフ・アシスタンス・サポート・ホープ

「キリストの心を抱き、キリストと共に被災地に出かけ、キリストと共に復興作業をし、キリストと共に被災者の思いを聴く」

今回のテーマ:教会間ネットワーク 点・線・面・立体化(網を作り共に引き上げる)

+問い:みなさんの考える教会間ネットワークとはどんなことでしょうか?

◇考えてみましょう。

- ・自分事と他人事
- ・当事者:ある事柄に直接関係している人
- ・マジョリティとマイノリティ
- ・支援と受援
- ・支援と防災

+問い:考えたことを書いてみてください。

◇地域をどう把握しているか、どんな人と繋がりがああるかを考えてみましょう。

<教会>

教会員マップ(所在地、連絡先)

地域教会所在マップ

地域牧師会:ネットワーク(例:キリスト教放送、クリスマス、世界食糧デー)

教会の備え:備蓄食品、寝具、発電機など

<地域>

地域のハザードマップ

地域の特徴:例 外国人、ひとり世帯、高齢世帯、地域(例:商店街、工場地帯。河川、丘陵)

自治体:自治会、社会福祉協議会、警察、消防、医療機関、教育機関、施設

## <地域と教会>

・地域の人々にとって教会とは何でしょうか？ 福音を伝える・福音に生きる・祝福する

月刊「いのちのことば」掲載記事より抜粋 特集「災害に教会はどう備えるか」

「平時から備える五つのアイデア」大友幸証師

「教会が災害時により積極的に地域に貢献するためのアイデア」

→以下の5つの窓からみなさんの教会を見て(診て)みましょう。

1.  地域の人々や行政と普段から繋がる
2.  福祉活動に普段から取り組む
3.  教会の中でリーダーを育てておく
4.  教会ネットワークを築いておく
5.  神の思いを知る

\* 発災したらどうするか？流れをイメージしておきましょう。

1. 被災状況を知り、確認し、祈る 今後の動きをイメージする
2. 支援の必要性の把握する 種類・内容の判断、期間、規模、費用  
災害復興支援をすると決まった時には
3. チーム編成をする チームの種類と役割  
セクション(骨組み)
  - ・統括
  - ・ワーク
  - ・ボランティア(募集と受け入れ)
  - ・渉外(地域・教会・団体)
  - ・広報(FB,Web)
  - ・会計(収入、支出管理)
  - ・ケア(被災者、ボランティア)

+ ボランティア活動時の三つの主な必要: 宿泊、食事、移動

「平時からの蓄積があるからこそ、コロナ禍という‘危機‘に際しても、しなやかに支えの網を拡げながら、力を発揮することができたのだ。」 P339 移民の子どもの隣に座る 朝日新聞出版